

**令和8年度 第1回
徳島県GIGAスクール構想推進本部会議**

徳島県GIGAスクール構想推進本部事務局



次 第

日時 令和8年5月29日（金） 午後1時30分から午後3時

1 開 会

2 本部長挨拶

3 報告・協議

(1) 推進本部及び各部会の設置・役割 及び
推進本部の目標について

(2) 各部会の目標・取組等について

(3) その他

4 閉 会

出席者名簿

所属及び役職	氏名(敬称略)	備考
徳島県教育委員会 教育長	中川 齐史	本部長
徳島県市町村教育委員会連合会 会長	井上 圭三	副本部長
徳島県教育委員会 副教育長	高崎 美穂	副本部長
徳島県小学校長会 副会長(学島小学校長)	片山 富造	
徳島県中学校長会 理事(宍喰中学校長)	岡澤 洋	
徳島県高等学校長会 会長(城東高等学校長)	木屋村浩章	
徳島県特別支援学校長会 会長(板野支援学校長)	小谷 慎一	
徳島県教育委員会 教育改革統括監	真相 秀也	
徳島県教育委員会 教育次長	遠藤 岳哉	小・中学校担当

出席者名簿

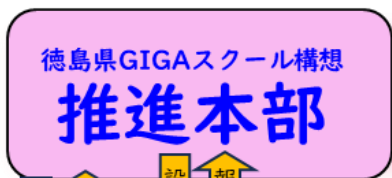
所属及び役職	氏名（敬称略）	備考
徳島県教育委員会 教育政策課 課長	玉岡あき子	
徳島県教育委員会 教育DX推進課 課長	秋山 敏二	教育DXタスクフォースリーダー
徳島県教育委員会 教育DX推進課 主幹	橋本 史朗	推進チームリーダー 情報モラル・情報セキュリティ対策部会長併任
徳島県教育委員会 義務教育課 課長	宮城 佳恵	小学校部会長
徳島県教育委員会 高校教育課 課長	藤本 智美	
徳島県教育委員会 高校教育課 主幹	武田 浩明	高等学校部会長
徳島県教育委員会 特別支援教育課 課長	中山 登	特別支援学校部会長
徳島県教育委員会 いじめ・不登校対策課 主幹	宮田 善夫	学びの保障部会長
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 課長	西村 広志	中学校部会長
徳島県立総合教育センター 学校経営支援課 課長	平田 義明	データ活用研究部会長

【事務局】徳島県教育委員会 教育DX推進課 GIGA・学び創造担当

事務局長：富永憲志、庶務担当：武知将人、事務局員：松田善信・大西芳正・濱文和・坂東永充

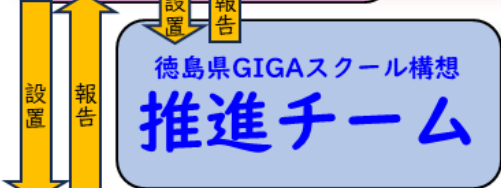
R8 徳島県GIGAスクール構想 各組織の構成

(推進本部事務局より)



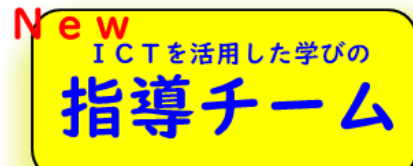
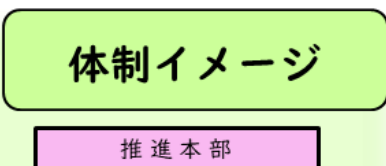
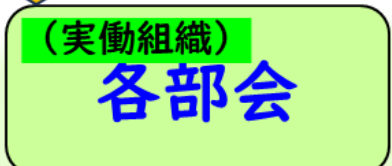
徳島県教育委員会が設置 (本県のGIGAスクール構想推進本部の決定機関)

- 本部長：徳島県教育委員会教育長 ○副本部長：徳島県市町村教育委員会連合会会長、徳島県教育委員会副教育長
- 本部長：各校種校長会・校長協会会長又は各会が推薦する会員（各校種より）、教育改革統括監、教育次長（幼・小・中担当）、教育政策課長、教育DX推進課長、義務教育課長、高校教育課長、特別支援教育課長、推進チームリーダー
- 事務局：教育DX推進課GIGA・学び創造担当



推進本部と各機関との橋渡しを担う

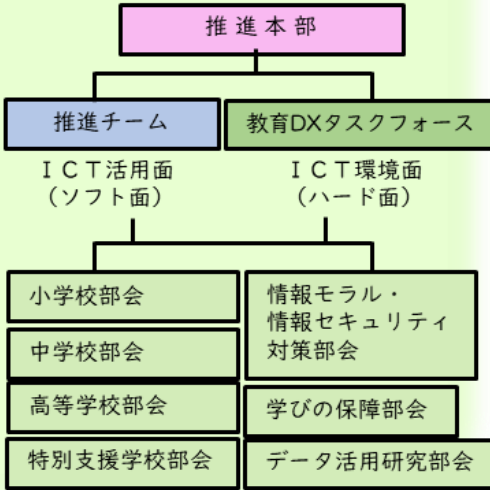
- リーダー：教育DX推進課主幹 ○サブリーダー：同課統括指導主事
- メンバー：各部会の庶務担当 ○庶務担当：リーダーが命ずる者



学校に直接的な指導・助言を行う (実働チーム)

構想の実現に必要な作業を行う

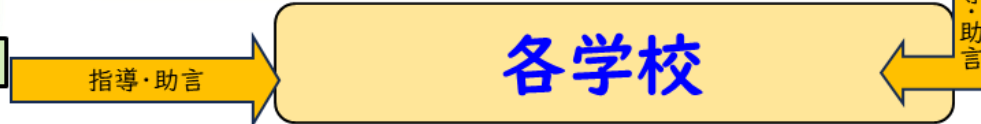
- 部会長
本部長の指定する役職にある者
- 部会員
部会長の推薦する役職にある者
- 庶務担当
部会長が命ずる者



【本部長(教育長)から全指導主事等への指示】

- ①すべての授業研究会・研修等において、教科内容+学び方 (ICT活用)の指導・助言を
- ②それぞれの担当業務(学校対象)において、県域アカウントを活用する機会の創出を
- ③指導主事自ら学び続ける姿の体現 (ICTスキルの習得)を

- メンバー：参加を希望する県教委事務局職員
- ※「デジタル学習基盤を前提とした学び」の指導・助言の強化を目的とする、県教委各課を横断するコミュニティ



昨年度の推進目標と全体重点目標

(推進本部事務局より)

令和7年度 徳島県GIGAスクール構想推進本部

令和7年度の推進目標

「学びを豊かにする教育DXの推進」

- ・各校における「徳島ICT活用モデル」のM段階の事例研究・創出



令和7年度の全体重点目標

- ① GIGAスクール構想の更なる展開
 - ・「徳島ICT活用モデル」による学び・指導の変革とICTの活用推進
- ② ICTを活用した教育の推進
 - ・県域アカウント（クラウドツール）利活用の研究・推進
 - ・先端技術を活用した新たな教育の可能性を広げる教育の研究・推進
- ③ ICTの利活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・児童生徒の主体的な学びを支える情報活用能力（情報モラル、情報セキュリティ、プログラミング的思考に関する資質・能力を含む）の育成
 - ・児童生徒の発達段階や学習段階、多様な学習ニーズに応じた教育活動の推進

重点推進事項

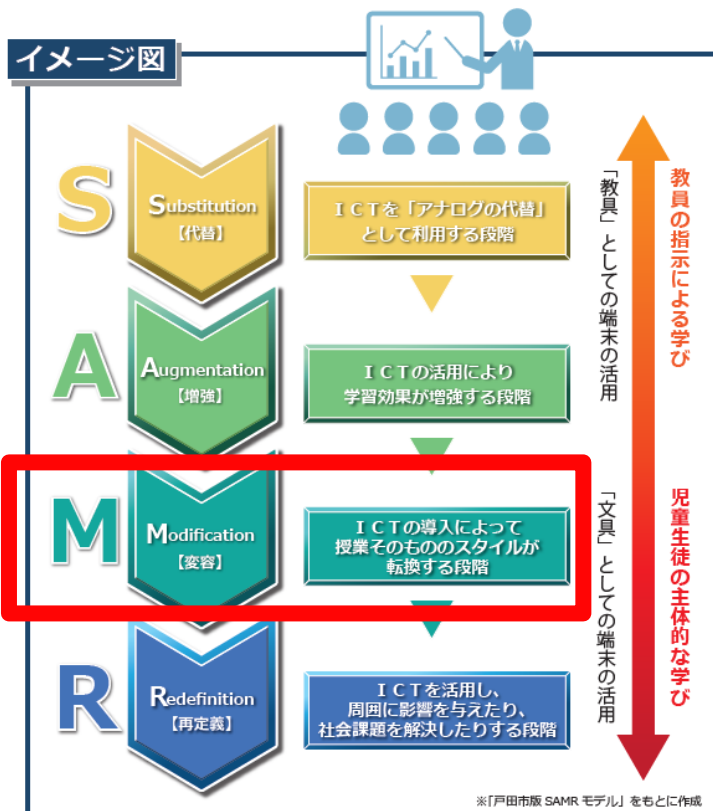
- ①「徳島ICT活用モデル」のM段階の事例創出
- ②「県域のアカウント」の普及

「徳島 I C T 活用モデル」について

(推進本部事務局より)

徳島ICT活用モデル

「徳島 I C T 活用モデル」は、県内の小・中・高校・中等教育学校・特別支援学校における D X による学び・指導の変革、1人1台端末の日常的・効果的な活用の推進のために策定しました。I C T が授業や学習者にどのような影響を与えるのかを示す段階及び指標 (S ~ R) をもとに、各校において活用の定観測をしたり、授業デザインを構想したりすることを通して、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実のために役立ててください。



- ・令和6年3月、推進本部にて策定
- ・令和6年4月、全教職員へ配布

令和6年度の目標

A段階以上の実施率が、全校100%を目指す。

令和7年度の目標

各校における、M段階の事例創出を目指す。



- ・2年間にわたり、「徳島ICT活用モデル」を基にした活動を展開
- ・これまでの実践事例等をふり返り、**改めてSAMR段階を整理**

R7「徳島ICT活用モデル」に関する取組の結果

(推進本部事務局より)

昨年度の目標

Q1:現在、校内の授業で「徳島ICT活用モデル」のM段階の事例は見られますか？

校種	見られる	見られない
全校種	80.0%	20.0%
小学校	79.2%	20.8%
中学校	77.2%	22.8%
高等学校	85.4%	14.6%
特別支援学校	90.9%	9.1%

どちらの重点推進事項も約8割の学校で目標が達成されている。

Q2:現在、校内で県域のGoogleアカウントを活用していますか？

校種	児童生徒のみが活用	教員のみが活用	どちらも活用	どちらも未活用	※活用率
全校種	5.2%	45.5%	30.7%	18.6%	81.4%
小学校	2.5%	48.4%	25.2%	23.9%	76.1%
中学校	2.5%	55.7%	21.5%	20.3%	79.7%
高等学校	22.0%	14.6%	63.4%	0.0%	100%
特別支援学校	0.0%	45.5%	54.5%	0.0%	100%

※中等教育学校・市立高等学校も含む

R7 「徳島 I C T 活用モデル」に関する取組の課題

(推進本部事務局より)

各校における 校内で必要であると考えている取組の割合

約8割の学校でM段階の取組が見られる一方で…

※1【算出方法】該当校数/対象校数

※2:各校、最大3つまで選択可の条件指定で回答

校種	ICTの活用推進	ICTの効果的活用	データ利活用	児童生徒の情報活用能力の育成（モラルも含む）	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた研究・実践等
全校種	41.7%	59.7%	12.8%	46.9%	31.7%
小学校	42.1%	60.4%	10.1%	54.1%	38.4%
中学校	45.6%	59.5%	13.9%	46.8%	26.6%
高等学校	29.3%	56.1%	19.5%	29.3%	19.5%
特別支援学校	54.5%	63.6%	18.2%	9.1%	18.2%

校種	デジタル人材の育成	機器・ネットワーク環境の整備	ICT支援員との連携	現状の取組を続ける。（概ね推進事項は実現している。）
全校種	45.9%	24.8%	14.5%	1.7%
小学校	39.6%	21.4%	16.4%	1.9%
中学校	45.6%	25.3%	12.7%	1.3%
高等学校	68.3%	36.6%	12.2%	0.0%
特別支援学校	54.5%	27.3%	9.1%	9.1%

児童生徒が日々の授業でICTを活用せず、情報活用能力の育成は図られない。

- ・「ICTの活用推進」を課題とする学校は、依然として多い。
- ・本県も、ICT活用について、校内での教員格差が大きいと推察される。

学校が抱えてきた諸課題に対する解決策として

(推進本部事務局より)

徳島県の現状

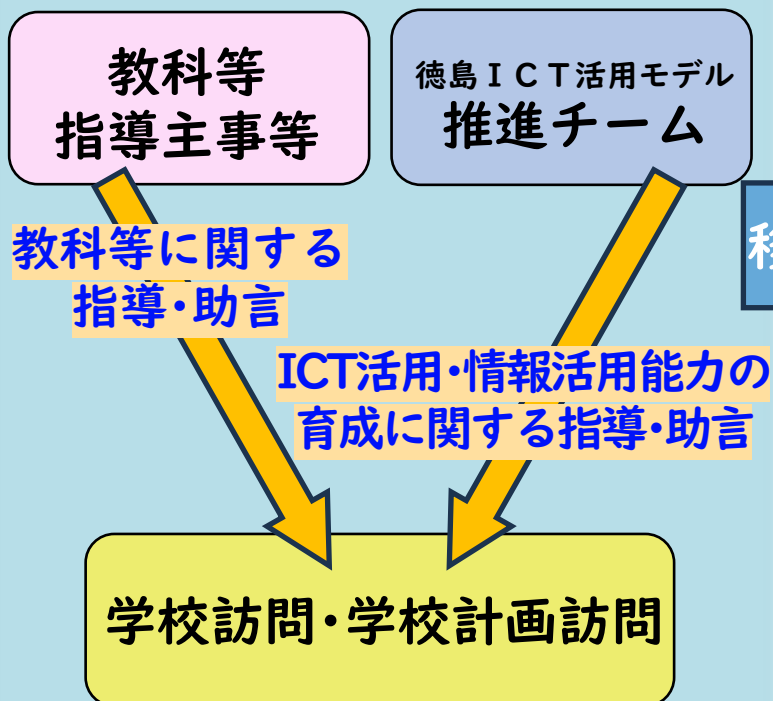
- ・ICTの活用推進が課題
- ・教員の二極化
- ・好事例（M事例）の普及に課題

指導の強化
が必要

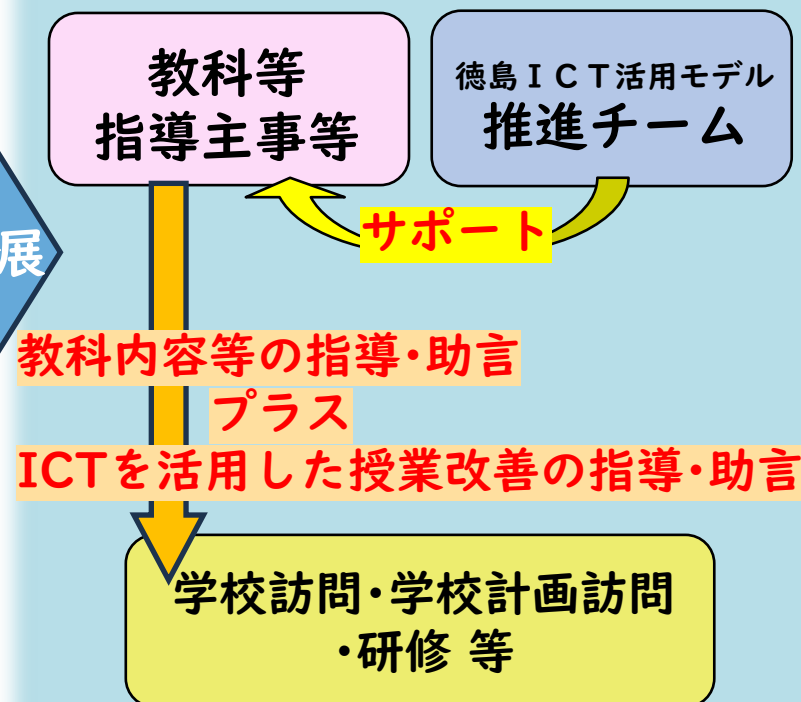
国が示す方向性

- ・デジタル学習基盤を前提とした学び
- ・情報活用能力の抜本的向上
- ・生成AIの利活用について研究

令和6・7年度の指導・助言体制



令和8年度の指導・助言体制



令和8年度 推進目標と全体重点目標

(推進本部事務局より)

令和8年度の推進目標 (案)

学びを豊かにする教育DXの推進 ～自分らしく学び、未来を創る～

- 各校における「徳島ICT活用モデル」のM段階（児童生徒の主体的な学び）の事例研究・展開
- 生成AIを含む「県域のアカウント」の活用

令和8年度の全体重点目標 (案)

- ① GIGAスクール構想の更なる展開
 - ・ 「徳島ICT活用モデル」による学び・指導の変革とICTの活用
- ② ICTを活用した教育の推進
 - ・ 県域のアカウント（クラウドツール）利活用の研究・推進
 - ・ 生成AIや先端技術を活用した新たな教育の可能性を広げる教育の研究・推進
- ③ ICTの利活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・ 児童生徒の主体的な学びを支える情報活用能力（情報モラル、情報セキュリティ、生成AI、プログラミング的思考に関する資質・能力を含む）の育成
 - ・ あらゆる教科・領域の中でのSTEAMの考え方を意識した授業の展開
 - ・ 児童生徒の発達段階や学習段階、多様な学習ニーズに応じた教育活動の推進

「徳島 ICT 活用モデル」M段階の事例研究・展開

(推進本部事務局より)

令和8年度の推進目標

- ①「徳島ICT活用モデル」M段階の事例研究・展開
- ②生成AIを含む「県域アカウント」の活用

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について (令和6年12月25日中央教育審議会諮問)【概要】

令和7年1月28日
第147回初分科会
資料 1 - 2

主な審議事項

1 質の高い、深い学びを実現し、分かりやすく使いやすい 学習指導要領の在り方

- 生成AIが発展する状況の下、知識の概念としての習得や深い意味理解を促し、学ぶ意味や社会とのつながりが重要となる中、そうした授業改善に直結する学習指導要領とするための方策(特に、各教科等の中核的な概念等を中心に、目標・内容を一層構造化)
- 目標・内容の記載に表形式等を活用すること、学校種間・教科等間の関係を俯瞰しやすくすることのほか、デジタル技術を活用した工夫の在り方
- 重要な理念の関係性の整理(「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」、「学習の基盤となる資質・能力」等)
- デジタル学習基盤の活用を前提とした、資質・能力をよりよく育成するための各教科等の示し方
- 学習改善・授業改善に効果的な評価の観点や頻度、形成的・総括的評価の在り方(特に、「主体的に学習に取り組む態度」をはじめ観点別学習状況の把握をより豊かな評価につなげるための改善)

2 多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方

- 興味・関心や能力・特性に応じて子供が学びを自己調整し、教材や方法を選択できる学習環境デザイン的重要性、デジタル学習基盤を前提とした新たな時代にふさわしい学びや教師の指導性の在り方
- 教師に「余白」を生み、教育の質の向上に資する可能性も含めた、子供たちの可能性が輝く柔軟な教育課程編成の促進の在り方(各種特例校制度等を活用しやすくすること、標準授業時数に係る柔軟性、学習内容の学年区分に係る弾力性、単位授業時間や年間の最低授業週数の示し方)
- 高等学校の生徒の多様性に応える柔軟な教育課程の実現のための、全日制・定時制・通信制を含めた諸制度の改善の在り方
- 不登校児童生徒や特定分野に特異な才能のある児童生徒など、各学校が編成する一つの教育課程では対応が難しい子供を包摂するシステムの構築に向けた教育課程上の特例等の在り方

デジタル学習基盤を前提とした学習指導要領や教育課程の在り方について議論

生成AIを含む「県域アカウント」の活用

(推進本部事務局より)

令和8年度の推進目標

- ①「徳島ICT活用モデル」M段階の事例研究・展開
- ②生成AIを含む「県域アカウント」の活用

※県域のアカウントとは
共通ドメインによる県域を統一した
Googleのアカウント



県域のアカウントで利用可能な全国的によく使われているアプリケーション

- ①Google Classroom
学習管理ツール。クラス作成、課題作成、フィードバック等が行える。
- ②Google スプレッドシート™
表計算ツール。複数人での同時編集が可能。
- ③Google スライド™
プレゼンテーション資料作成ツール。複数人での同時編集が可能。
- ④Google Chat™
個人宛からグループ間まで、手軽にコミュニケーションがとれるツール。
- ⑤Google ドライブ™
オンラインストレージ。ほかのユーザーの閲覧や編集を許可できる。

標準化と自由化

標準化⇒県域アカウントで利用可能なツールを活用した授業づくり・校務DXなど

※県内全ての児童生徒・教職員が共通して、一定のスキルやノウハウを身に付けていく。

県域アカウントのメリット(一例)

- ①教師のメリット
校種や市町村の枠を越えて、各ツールの実践事例やノウハウの共有が可能。
- ②児童生徒のメリット
進学・転校時、学習成果物等を持ち越すことが可能。
- ③将来的な教育データの利活用
ダッシュボード機能を実装するにはデータの一元化(統一ツール)が必要。

徳島県GIGAスクールサポートサイト



徳島県GIGAスクールサポートサイト

お知らせ

- ・徳島県の公立学校等で、GIGAスクール構想を推進するために必要な情報を掲載しています。
- ・工事中のページは、随時追加・更新してまいります。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願ひします。
- ・◆マークのページは、パスワードを入力してください。(旧サイトと同じパスワードです)

情報モラル教育

- GIGAワークブック
- デジタルコンテンツ
- 情報モラル推進事業 etc.

プログラミング教育

- 研究指定校の取組
- 事例コンテンツ
- リンク集 etc.

研修・校務への活用

- 県域アカウントの使い方
- 校務での活用事例
- アプリの使用方法 etc.

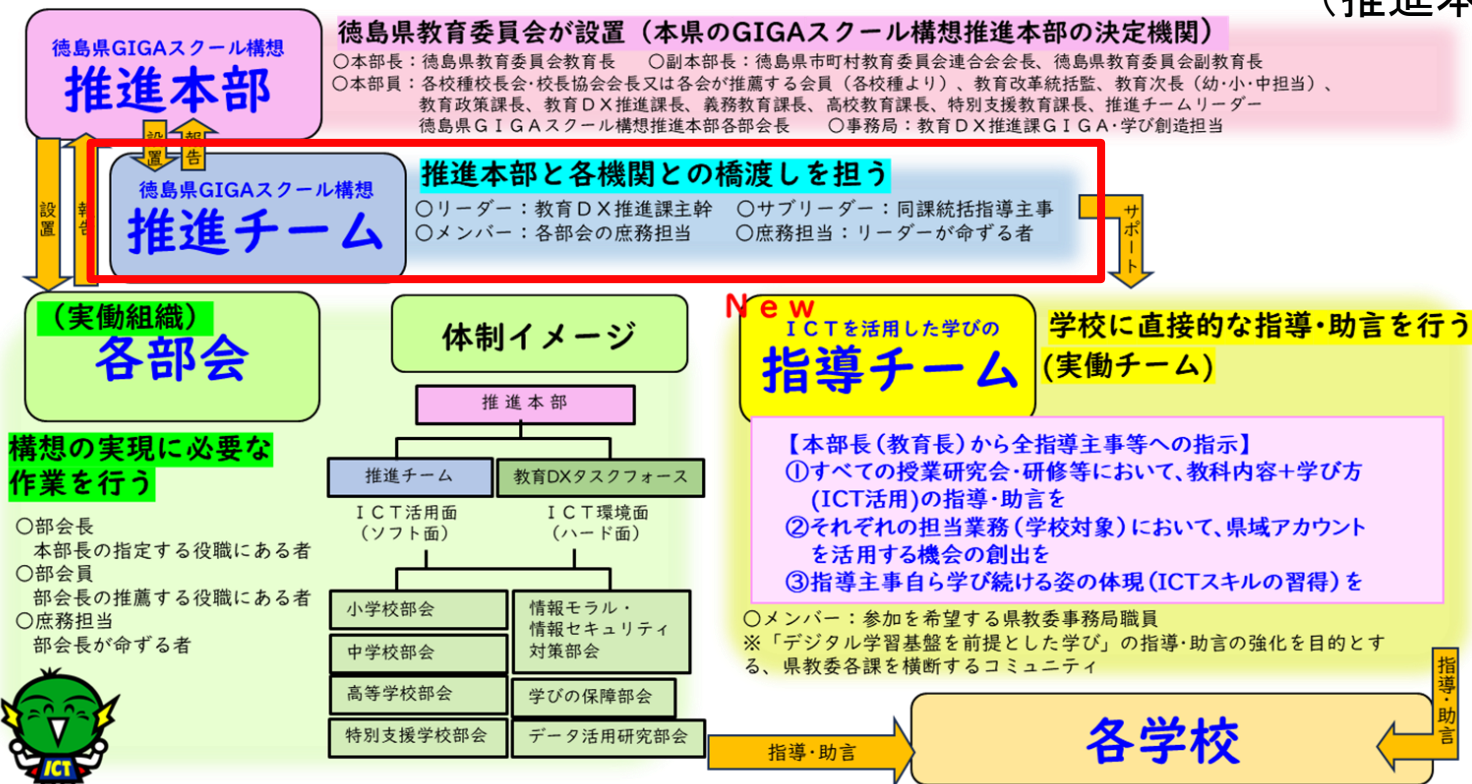
各種書式・リンク集

- 端末利用・修理関連
- リンク集 etc.

本中の画像・動画、及びすべての情報について、無断で転載・頒布することを禁じます。
Copyright © 徳島県教育委員会 All Rights Reserved

徳島県GIGAスクール構想 推進チームの役割

(推進本部事務局より)



主な活動内容

- 推進本部及び各部会の施策等の周知
- 訪問校の課題・取組・意見等の収集
- 各課の学校訪問担当指導主事等との情報共有
- 「徳島ICT活用モデル」を基とした教育DXの支援
- 各校種部会からの提案の周知
- GIGA推進月間における実践の依頼・各校の取組紹介
- 他の教育DX関連事業等との連携



徳島県G I G Aスクール構想 各部署の役割

(推進本部事務局より)

各部署

小学校部会	中学校部会
高等学校部会	特別支援学校部会

各校種部会

推進目標・全体重点目標に向けた支援
(各校種の実態・発達段階等に応じて)

R8のメインテーマ

- ① 「徳島ICT活用モデル」M段階の事例研究・展開
- ② 生成AIを含む県域アカウントの活用
- ③ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

「M」段階の事例研究・展開

- ☆M段階の授業を全教員が日常的に実施するには？
- ☆児童生徒の主体的な学びを実現するためのポイントは？

生成AIを含む「県域アカウント」の普及

- ☆県域アカウントを活用していくメリットをどう伝えるか？
- ☆学校現場での「標準化」を何から、どのように進めていくか？
- ☆授業・学習等でどう活用するか？
- ☆校務・研修等でどう活用するか？

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- ★学びを支える情報活用能力をどう育成するか？
- ★探究的な学びをどう展開していくか？

各専門部会 (各テーマについて、調査・研究)

教育DXタスクフォース

持続可能なG I G Aスクール構想推進に向けた環境設計の提案 (学校のネットワーク・県立校の端末等)

情報モラル・情報セキュリティ対策部会

情報モラル・情報セキュリティ関係の情報収集・発信等 (各校種部会と連携)

学びの保障部会

学校 (教室) 外における学びの場を保障するためのICT活用についての研究

データ活用研究部会

教育データ利活用についての研究

共同調達検討部会 (R8年度は設置しない)

G I G Aスクール構想推進に向けた調達スキームの構築・実行計画の提案 (小・中学校の端末・次世代システム等)

※共同調達検討部会は、徳島県教育情報化推進協議会に係る検討組織の役割も兼ねる。

ICTを活用した学びの指導チームの役割

(推進本部事務局より)

令和8年度の重点推進事項

- ①「徳島ICT活用モデル」M段階の事例研究・展開
- ②生成AIを含む「**県域アカウント**」の活用

ICTを活用した学びの
指導チーム

各校種部会

連携の強化

各校種の実態に応じた各部会からの提案を、学校訪問等で推進する内容に直接反映する。

指導チームの活動自体において、県域アカウントを用いて、各校種部会と各学校を**双方向**につなぐ。

小学校部会

高等学校部会

中学校部会

特別支援学校部会

各校種の実態・発達段階等に応じた推進目標・重点目標の達成に向けた支援

先生方と部会がM事例や県域アカウントの活用事例を一緒に考えていく。

各学校

各校種部会からの提案に対する先生方の意見等を直接、各校種部会へ届ける仕組みを構築する。
(Googleのツールを活用)

このような実践をしている。
このようなことができそう。
こういうことに困っている。
こういうことは難しい。
など

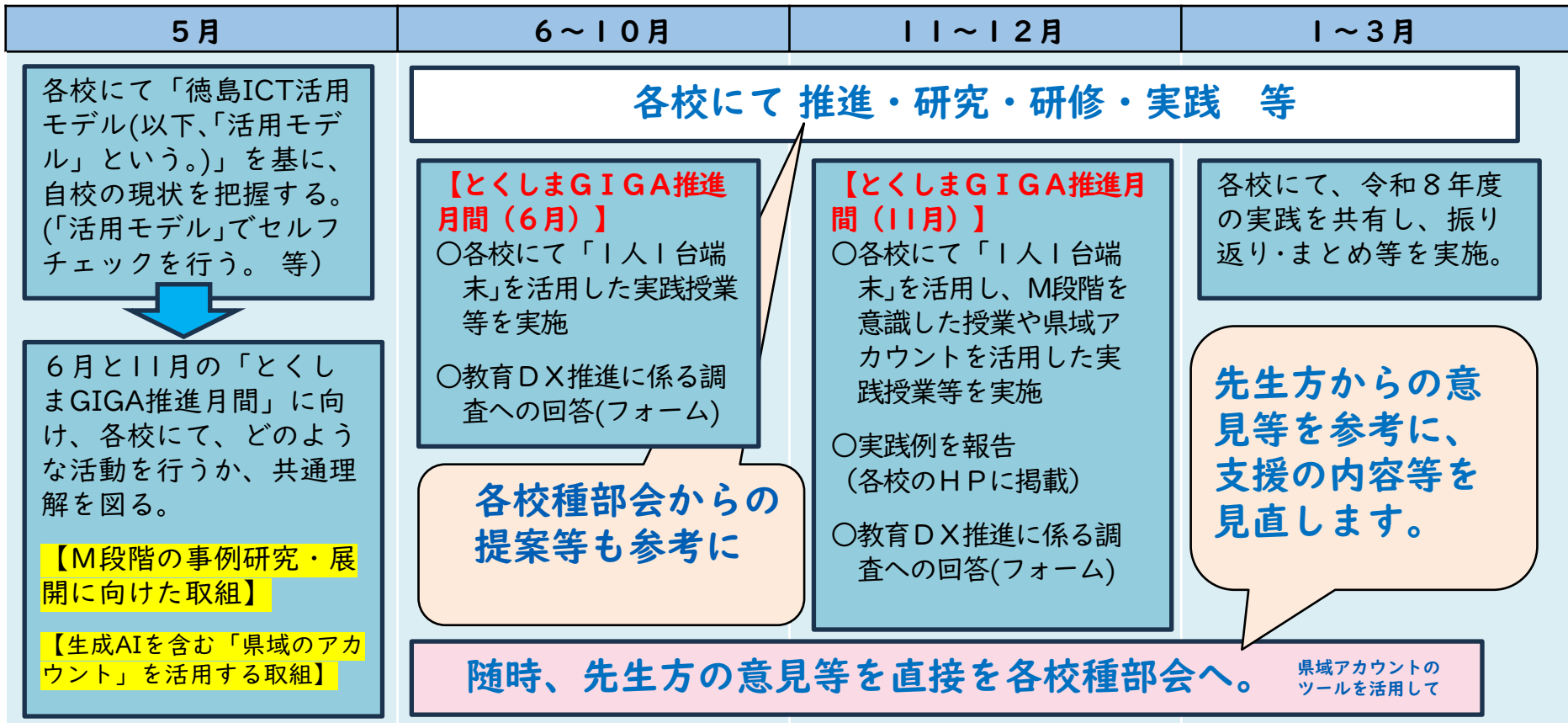
認定資格取得推進

徳島県GIGAスクール構想推進チームの取組

(推進本部事務局より)

令和8年度の重点推進事項

- ① 「徳島ICT活用モデル」M段階の事例研究・展開
- ② 生成AIを含む「県域アカウント」の活用



徳島県GIGAスクール構想 各部会の取組

(推進本部事務局より)

令和8年度の重点推進事項

- ①「徳島ICT活用モデル」M段階の事例研究・展開
- ②生成AIを含む「**県域アカウント**」の活用

各 学 校

- ◎県域アカウントを活用できる学校・教員を増やす
- ◎校種や市町村の別にとらわれない横展開が可能

徳島県教育委員会

様々な施策等で学校に携わる県教委の指導主事等も県域アカウントの活用を

推進・指導チーム・各部会

まずは推進チームや各部会の活動
自体で県域アカウントを活用

令和8年度 年間スケジュール

(推進本部事務局より)

徳島県GIGAスクール構想推進本部

推進本部・各部会

推進チーム・指導チーム

4

・推進本部・部会設置・委嘱

・学校訪問計画、準備、打合せ
・教育DX推進に係る年間スケジュール表の発行(各校へ)

5

・第1回各部会の開催
・第1回推進本部会議(本日)

・前期学校訪問実施開始【5月～7月】
(施策の周知、指導・助言、取組や意見の収集)
・各部会への情報提供(通年)

6

・徳島県学校教育情報化推進計画に係る調査

・とくしまGIGA推進月間

9

・後期学校訪問実施開始【9月～12月】

10

・第2回各部会の開催

11

・第2回推進本部会議

・とくしまGIGA推進月間

12

・とくしまGIGA推進月間の取組紹介

2

・第3回各部会の開催

3

・第3回推進本部会議
・次年度に向けての準備

・次年度に向けての準備

令和8年度 小学校学校部会の役割

自律的に学び続ける児童の育成
- 生成AI時代の情報活用能力の育成と県域アカウントの利活用促進 -

現状・課題等

- ①児童主体の学びにおける授業設計と、学びを深化させるICT活用に課題
- ②ICTスキルの向上に伴う、情報モラル教育の充実に課題
- ③県域アカウント（生成AI）活用率の乖離（教職員7割に対し、児童3割）

方策

- ①ICTを活用した学びの指導チームによる指導助言
- ②タイピング大会の実施、学び通信による情報モラル教育の普及促進
- ③県域アカウント（生成AI）を活用した教員研修の実施

具体的な取組計画（スケジュール）

部会での取組

学校への依頼

4月

第1回部会
(5月)

6月推進月間

9月

第2回部会
(11月)

11月推進月間

1月

第3回部会
(3月)

①M段階（児童主体の学び）の定着

校内の情報共有・相談環境づくりに向けたGoogleチャット活用支援・研究授業の実施
学校訪問、職員研修、要請訪問等においてM段階事例を収集し、HP等で随時発信

②情報活用能力の育成

GIGAワークブック（徳島版）を活用した実践の普及

タイピング
夏休み練習大会

部会通信で情報モラル教育実践の紹介

タイピング
冬休み決勝大会

③県域アカウント（生成AI）の活用推進

県域アカウント・AIを活用した研究授業の実施

県域アカウントを活用した悉皆研修の実施
学校訪問や公開授業等でAI・Google Workspace事例を収集し、HP等で随時発信

令和8年度 中学校部会の役割

中学校の実態・発達段階等に応じた、推進目標・全体重点目標に向けた支援
～生成AIとICTを活用し、生徒の主体性と情報活用能力を育む学びのデザイン～

現状・課題等

- ① 生徒の情報活用能力の育成にあたり、生徒間、学校間の格差が大きい
- ② 生成AIを含む県域アカウントの活用頻度の学校間の格差が大きい
- ③ 先進的な優れた取組事例が活用しきれていない

方策

- ① 全国学テのCBT化も見据え、基礎スキルの底上げを促進
- ② 校務の効率化に向け、活用の好事例の収集・発信、校内研修の推進
- ③ 生成AIの活用を含むM事例の収集・発信

具体的な取組計画（スケジュール）

4月

第1回部会
(5月)

6月推進月間

9月

第2回部会
(11月)

11月推進月間

1月

第3回部会
(3月)

①夏休み
タイピング大会

①冬休み
タイピング大会

②生成AIを含む「県域アカウント」の活用
校務利用などの好事例の収集・発信、校内研修の推進
→身近な校務の効率化から始められるようにテンプレート集などの情報提供

③生成AIの活用を含むM事例の収集・発信
→隙間時間で視聴しやすいように短時間の動画で配信
公開授業などの機会を積極的に活用できるように情報発信

次年度の準備

令和8年度 高等学校部会の役割

ICT活用による学び・指導の深化と、生成AIを含む県域アカウントの活用

現状・課題等

- ①情報活用能力の育成
 - ・生成AI利用等のリスク管理、情報モラルの育成
- ②学びの「質」の向上（M事例も含む）
 - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の深化へ

方策

- ①生成AIの利便性とリスク管理、情報モラルの指導事例を発信・共有
- ②-1 授業デザイン・ファシリテーション能力を高める指導・助言、研修
- ②-2 「使える」アーカイブを活用しやすい形式で共有

具体的な取組計画

高等学校部会

- ・徳島ICT活用モデルM段階の再提示
- ・学びの指導チームとの連携による指導・助言
- ・教育課程研究集会等その他研修での課題・実践例紹介
- ・教員の日常的な県域アカウント利用および生成AI活用の促進
- ・各学校の情報担当とのGoogle Chatグループ作成および活用の推進
- ・Google ChatグループによるM事例等（生成AI・情報モラル事例含む）の収集・アーカイブ共有

各学校の活動

- ・M段階の授業実践・改善・研究授業実施・振り返り
- ・学びの指導チームの指導・助言に基づく授業改善・実践・振り返り
- ・教育課程研究集会等その他研修や他校種見学による多角的な研修の受講
- ・教員の県域アカウント利用および生成AI活用の日常化
- ・各学校の情報担当者用Google Chatグループの活用（事例共有・相談）
- ・Google ChatグループによるM事例等（生成AI・情報モラル事例含む）の紹介・アーカイブ共有

令和8年度 特別支援学校部会の役割

特別支援学校の実態・発達段階等に応じた 推進目標・全体重点目標に向けた支援
ICTをフル活用した新たな「学び」や「体験」の波及～シームレスにつながり、みんなの学びへ～

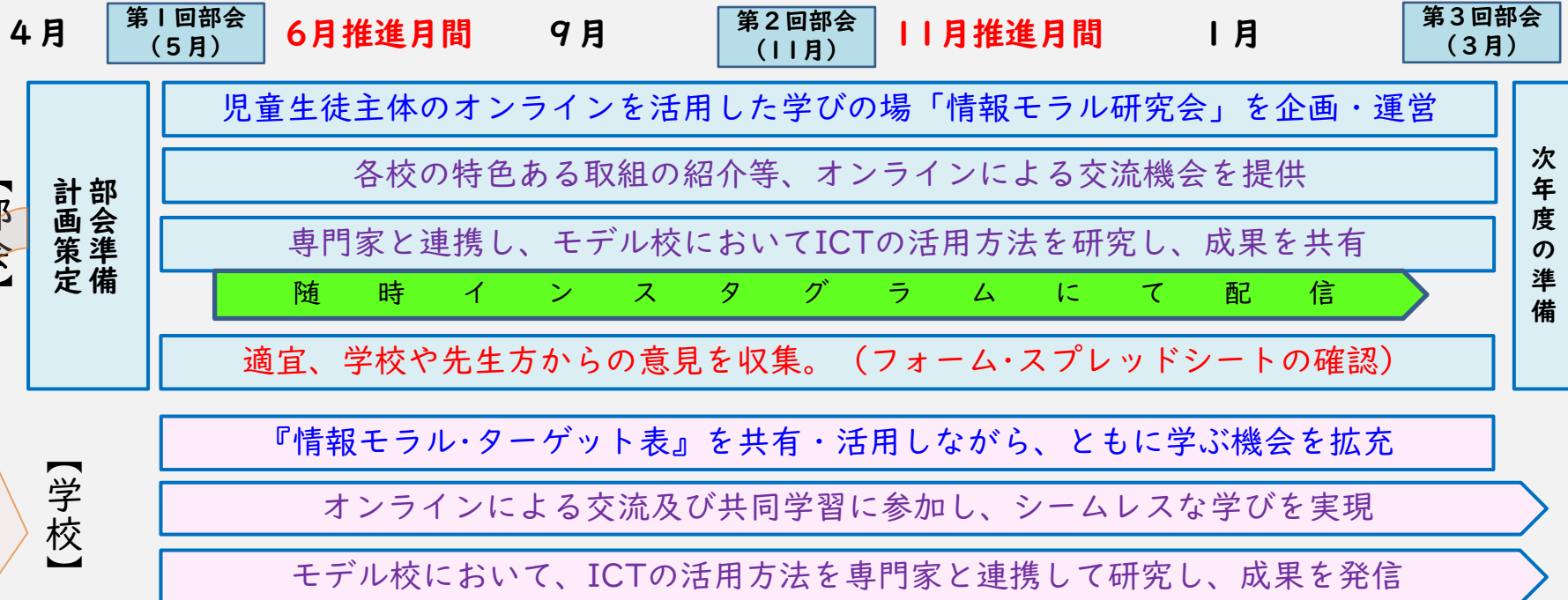
現状・課題等

- ・幅広い児童生徒の実態に応じた「情報モラル・セキュリティ教育」の充実（授業計画・教材等）
- ・教員間および学校間におけるICT活用に関する格差
- ・ICTの活用による新たな学びや体験の創出と共有

方策

- ・「情報モラル・ターゲット表」の活用と学びの共有
- ・ICT活用に関する好事例を周知し、活用法を共有
- ・専門家との連携による新たな学びや体験の研究と、その成果の周知および共有

具体的な取組計画（スケジュール）



令和8年度GIGAスクール構想推進本部【教育DXタスクフォース】部会

令和8年度重点目標

徳島県における教育のDXを推進し、教育に必要で持続可能な環境を構築する協議及び調整を行う

課題

- ・徳島県学校教育情報化推進計画の着実な実行
- ・県域統一アカウントの円滑な運用と活用促進
- ・県立学校のネットワーク環境の最適化
- ・タブレット端末の教育的活用の推進

方策

- ・有識者からの意見聴取と教育現場のニーズ反映を重視した計画策定
- ・関係機関との連携強化による効率的な事業推進
- ・ネットワークの安定稼働を維持し、現場に負担をかけない迅速な支援体制の構築
- ・ICT支援員による伴走型支援の充実

具体的な取り組み

第1回部会

- ・令和8年度の重点目標、課題、方策について説明し、委員間で共有する。

第2、3回部会

- ・「徳島県学校教育情報化推進計画」の進捗状況報告および、教育現場のニーズに応じた継続的な改善策についての意見聴取。
- ・ネットワーク設備および端末の稼働状況、教職員・生徒の「使用感」を踏まえた運用の最適化に向けた意見交換。

※補足

計画は、タスクフォースにおける議論や、教育現場からの意見、有識者からの助言等を踏まえ、適宜修正される。
計画の推進にあたっては、関係機関との連携を密にし、効率的かつ効果的な事業実施に努める。

令和8年度 情報モラル・情報セキュリティ対策部会の役割

情報モラル・情報セキュリティ関係の情報収集・発信等

課題

- ・技術の進化や教育現場の課題への対応継続
- ・データの保護に対する意識の更なる向上
- ・生成A Iの適切な利活用



方策

- ・自他の人権を尊重する情報モラル教育の推進
- ・情報を正しく安全に利活用できる情報活用能力の育成の推進
- ・校務をはじめとする様々な場面における、生成A Iの適切な利活用の推進

具体的な取組計画

4月

第1回部会
(5月)

6月推進月間

9月

第2回部会
(11月)

11月推進月間

1月

第3回部会
(3月)

情報モラル教材「GIGAワークブックとくしま」を活用した情報モラル教育啓発

面談やPTA行事等の機会を捉えて保護者へ周知

情報セキュリティ意識の向上に向けた啓発

国及び他県の動向をふまえ、データの適切な取扱いについて各部会と協議・発信

生成A Iの活用と、その課題について研究・整理

活用の好事例等を、学校から情報収集

徳島県GIGAスクール構想推進チームとの情報共有

- ・成果の検証を元に作成物の改訂
- ・「FAQ」更新

令和8年度 学びの保障部会の役割

多様な背景を持つ児童生徒の学びを保障するための、ICTを活用した個別最適な学習環境の研究

現状・課題等

不登校児童生徒、病気療養中等の児童生徒、外国にルーツをもつ児童生徒への具体的な学習の取組の推進が必要

方策

- ① 学校計画訪問や教育支援センター等の訪問で好事例の**情報収集・発信**
- ② 生成AI (**Gemini** 等) を活用し、多言語で対応できる学習環境の整備
- ③ **Google Workspace**の活用法等の発信

具体的な取組計画 (部会での取組 、部会員への依頼)

4月

第1回部会
(5月)

6月推進月間

9月

第2回部会
(11月)

11月推進月間

1月

第3回部会
(3月)

年間取組計画・
役割分担の提示

県内学校計画訪問等や、
他の都道府県教育委員会
からも、好事例を収集・整理



部会通信の発信

(活用しやすさを重視して取り組む数を増やす)

今年度の
成果と課題

- ・ **Google Workspace**の操作方法、活用方法等を部会通信で発信
- ・ 学校計画訪問等で、**県域アカウント**の利用促進

不登校等児童生徒へのICTを活用した学習の取組。できるだけ誰もが活用しやすいような工夫をする。

義務教育段階

特別支援学校

校内教育支援センター

教育支援センター

保健室登校

- ・ 生成AI(Gemini等)を活用し多言語対応した学習環境
- ・ **Google Workspace**を活用した共同編集等

県域アカウントを用いた
好事例収集とその推進

令和8年度 データ活用研究部会の役割

- ・ 県域アカウント活用によるキャリアパスポートのデジタル化推進
- ・ 生成AIを活用した教育データの分析と利活用に関する研究

現状・課題等

- ・ 昨年度末にキャリアパスポートのデジタル化推奨を周知（R9年度よりデジタル化）
- ・ 教師用の県域アカウントが発行済み、R8年度内に全児童生徒用の県域アカウント発行予定
- ・ スタディログと生成AIの連携についての研究

方策

- ・ キャリアパスポートのデジタル化について、実務上の課題解決方法の研究・提案
- ・ 県域アカウントを用いたデータ利活用のメリットを周知
- ・ データ活用における生成AIの活用について事例創出

具体的な取組計画（スケジュール）

4月

第1回部会
(5月)

6月推進月間

9月

第2回部会
(11月)

11月推進月間

1月

第3回部会
(3月)

進捗状況の確認・修正

まとめ・次年度への引継

【部会】

キャリアパスポートのデジタル化（フォーマット案の作成、データの引継方法についての提案等）

県域アカウントを用いたデータ活用のメリットについて発信、事例等を研究・調査

生成AIを用いたデータ活用について先進地域の事例収集・研究・調査

先進事例の周知

【学校】

キャリアパスポートデジタル化の可能な学年から移行を開始

キャリアパスポートデジタル化（モデル校）

生成AIを用いたデータ活用について事例創出（モデル校）